

電子プッシュダイヤル錠 7-1-0200 取付説明書

このたびは、電子プッシュダイヤル錠 7-1-0200（以下、「本製品」といいます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、キーが不要で紛失の心配がない、プッシュ入力式のダイヤル錠です。

目的以外の用途には、用いないでください。

取付作業前に本書をよくお読みの上、正しく取り付けを行ってください。誤った取り付けは、思わぬけがをする恐れがありますので、本書の説明、注意事項をお守りください。

本製品の取り付けが終わりましたら、本書を本製品を使用する方にお渡しいただき、いつでも取り出せるようにしてください。本製品は改良等により予告なく、寸法、仕様が変わることがあります。ご不明な点は、本紙裏面の記載のところに照会ください。

■安全にお使いいただくために

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。⊙記号はしてはいけない(禁止行為)であることを告げるものです。

①記号は、必ず従っていただく内容(強制、指示)があることを告げるものです。

△警告 この注意事項を守らないと、思わぬケガ、周辺の家財に損害を与えることがあります。

- ⊙ 本製品は室内専用です。水のかかる場所には使用しないでください。
- ⊙ 屋外用には使用しないでください。室内の扉に使用してください。

△注意

- ・ コード（暗証番号）を変更する際は、必ずメモを取る様にしてください。コード（暗証番号）を忘れてしまうと変更や解錠の操作ができなくなります。
- ・ 濡れた手で本製品を操作しないで下さい。故障の原因になります。

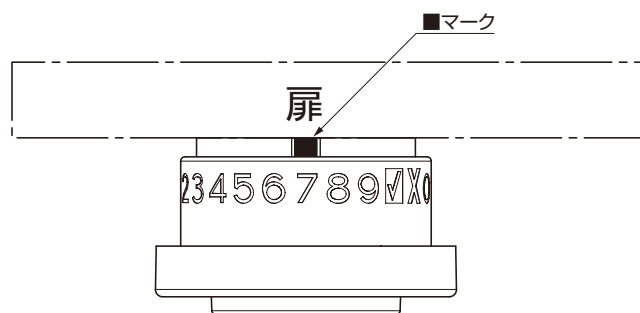
1. 本製品の概要

- ・ キーの代わりに暗証番号で施錠・解錠を行なう電子式のダイヤル錠です。
- ・ マスター（管理者）が1つの暗証番号を使い、複数の錠を解錠出来るマスターコードの設定ができます。
- ・ 施錠操作の簡便性を優先したイージーローカルユーザーモードや、セキュリティを重視したセントラルユーザーモードなど3種類のモードがあります。
- ・ 施錠操作を行なうと、つまみを回してもカムは回らず、扉を開けられない状態になります。
- ・ 解錠操作を行なうと、つまみとカムが連動し、扉の開閉が可能になります。
- ・ 解錠操作後、つまみを時計回りに90°回すと、カムのかかりが外れ、扉を開くことができるようになります。施錠するには、扉を閉じた後、つまみを反時計回りに90°回し施錠操作を行います。（イージーローカルユーザーモードでは、この時点で自動的に施錠状態になります。）
- ・ ボタン電池（CR2450）を使用します。電池が切れた場合でも、本製品は施錠状態を保持し、暗証番号も保持します。その場合、電池を交換することで解錠を可能にします。
- ・ 使用温度範囲は - 10℃～+ 50℃（室内環境）です。



2. 本製品の操作方法

- ・ 本製品の外周には、0～9及び✓、Xの文字が印刷されており、ダイヤルを回すと個々の位置でクリックします。
- ・ 暗証番号等の入力を行うには、目的の文字を■マークに合わせ、つまみ部を押します。(以後、この操作を「入力」と称します。)
- ・ 入力を間違えてしまった場合、Xを入力してください。それまでの入力をキャンセルすることができます。



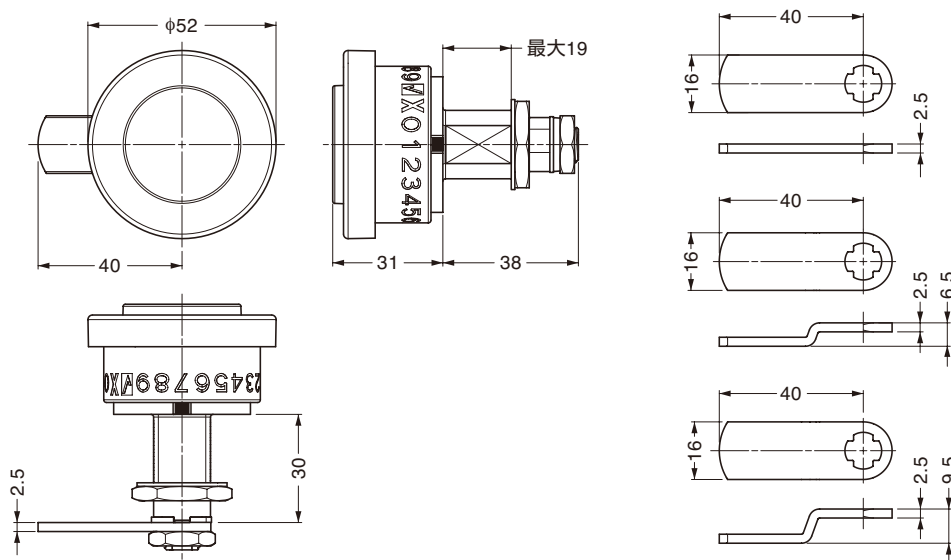
3. 動作確認

- (1) ダイヤルの数字「4」を■マークに合わせ、4回押してください。
- (2) 緑色に点滅すれば、問題ありません。それ以外の場合、「10.トラブルシューティング」を参照してください。

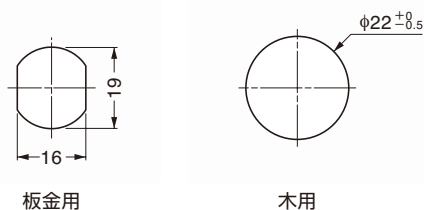
4. 取付方法

- ① 木板に取り付ける場合、別売の固定スリーブ (7-1-4003) が必要です。
- ① 電池を交換する際には、別売の電池交換工具 (7-1-4001) が必要です。

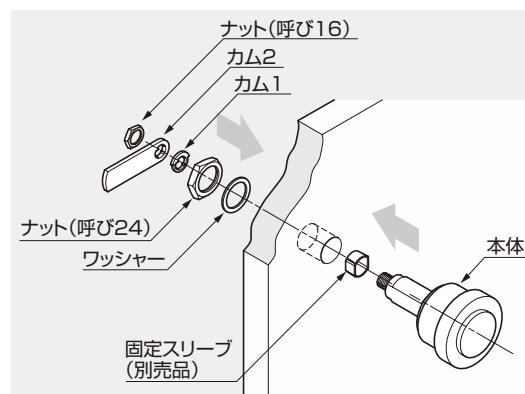
1 部品寸法図



2 取付穴



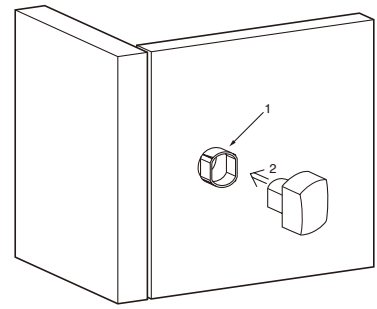
3 構成部品



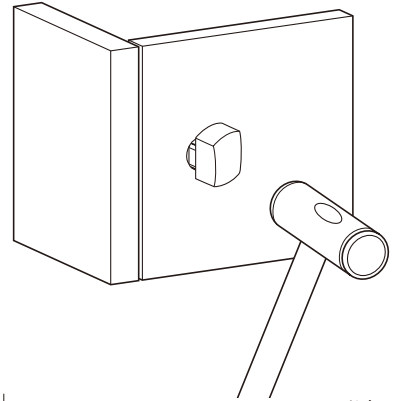
④取付手順

- ・ここでは、扉の吊り元が右側の場合を想定して説明しています。
吊り元が左側の場合は左右を逆向きに取り付けてください。
板金 の場合、(3) に進んでください。
(イラストは木板にて描いてありますが板金の場合も同様です。)

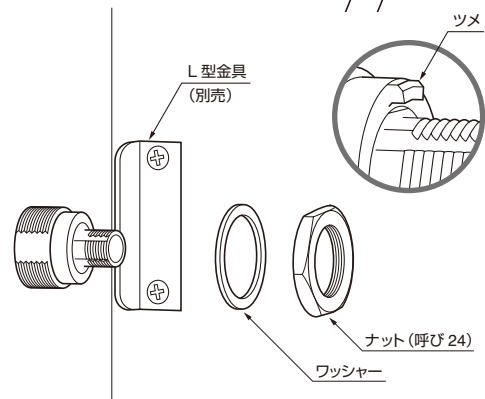
(1) 固定スリーブを取付治具に差し込んで取付穴にあてがってください。(固定スリーブの直線部分が垂直になるようにしてください。)



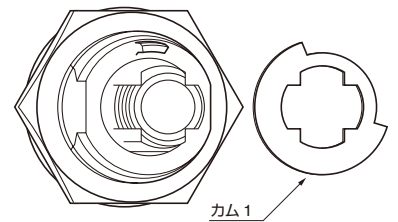
(2) 取付治具をプラスチックハンマーなどでたたき、固定スリーブを取付穴にはめこんでください。



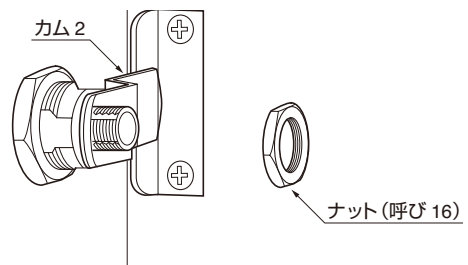
(3) 錠本体を後部のツメが上にくる向きで取付穴に挿入し、付属のワッシャーとナット（呼び 24）で扉に固定してください。



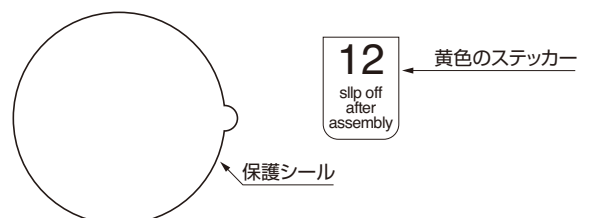
(4) カム1を図の向きに挿入してください。



(5) カム2を図の向きに挿入し付属のナット（呼び 16）で固定してください。



(6) キャップに貼られている透明の保護シールと黄色のステッカーをはがしてください。

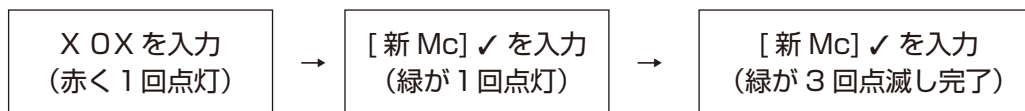


5. マスターコード (Mc) の変更

以下、マスターコード（管理者用暗証番号）を Mc と記述します。

(1) 工場出荷時の Mc を変更する場合

工場出荷時の Mc は 4444 です。これを変更するには以下の入力を行ってください。



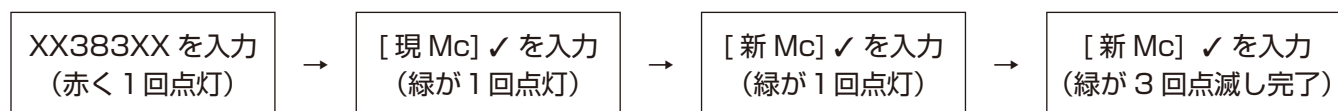
1 回目と 2 回目とで異なる Mc を入力した場合、赤色が 3 回点滅します。この場合、はじめからやり直してください。

△注意

- 工場出荷時の「イーージーローカルユーザーモード (7. (1) 項参照)」ではコードは 4 桁に限定されます。桁数を変えたい場合は、他のモードに切り替える必要があります。(9. (1) 参照)
- Mc を変更する際は、必ずメモを取る様にしてください。
- 7 項および 9 項で説明する「モード変更」を行えるようにするには、この操作を終えておく必要があります。

(2) Mc を再変更する場合

(上記 (1) で変更した後は、以下の方法で変更してください。)



1 回目と 2 回目とで異なる Mc を入力した場合、赤色が 3 回点滅します。この場合、はじめからやり直してください。

△注意

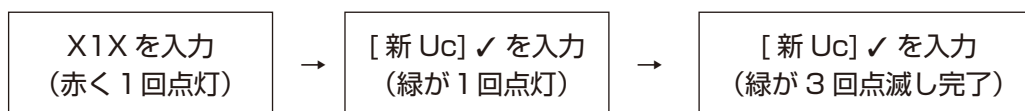
- 念の為、新しい Mc で開くか必ず試して下さい。新たな Mc で開かない場合、登録が失敗していることが考えられます。この場合、はじめ (XX383XX) からやり直してください。
- Mc を変更した際は、必ずメモを取るようにしてください。

6. ユーザーコード (Uc) の変更

以下、ユーザーコード（使用者用の暗証番号）を Uc と記述します。

(1) 工場出荷時の Uc を変更する場合

工場出荷時の Uc は 1234 です。これを変更するには以下の入力を行ってください。



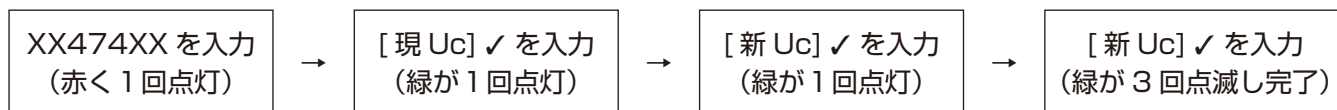
1 回目と 2 回目とで異なる Uc を入力した場合、赤色が 3 回点滅します。この場合、はじめからやり直してください。

△注意

- 工場出荷時の「イーージーローカルユーザーモード (7. (1) 参照)」ではコードは 4 桁に限定されます。桁数を変えたい場合は、他のモードに切り替える必要があります。(9. (1) 参照)
- Uc を変更する際は、必ずメモを取る様にしてください。
- 7 項および 9 項で説明する「モード変更」を行えるようにするには、この操作を終えておく必要があります。

(2) Uc を再変更する場合

(上記 (1) で変更した後は、以下の方法で変更してください。)



1 回目と 2 回目とで異なる Uc を入力した場合、赤色が 3 回点滅します。この場合、操作をはじめからやり直してください。

△注意

- ・念の為、新しい Uc で開くか必ず試して下さい。新たな Uc で開かない場合、登録が失敗していることが考えられます。この場合、はじめからやり直してください。
- ・Uc を変更する際は、必ずメモを取るようにしてください。

7. 各モードの概要と施錠・解錠の方法

(モードの切り替え方法については 9. (1) 項を参照してください。また、モードの切り替えを行う為には、5 (1) 項および 6 (1) 項の操作を終えておく必要があります。)

(1) イージーローカルユーザーモード

工場出荷時はこのモードに設定されています。施錠操作が最も簡単なモードです。

このモードでは、Mc・Uc の桁数は 4 桁に限定されます。

施錠方法 : 扉を閉じ、つまみ部を反時計回りに 90° 以上回す。※

解錠方法 : [Uc] または [Mc]

※解錠操作の 4 秒以後、この操作が有効になります。

(2) ローカルユーザーモード

このモードは小規模オフィスなどに適したモードです。

業務時間中常にか錠状態にする使い方や、必要なときだけ開錠しすぐに施錠する使い方ができます。

施錠方法 : 扉を閉じ、つまみ部を反時計回りに 90° 回し、つまみ部を 2 回押す

解錠方法 : [Uc] ✓ または [Mc] ✓

このモードでは、ユーザー自身が Uc を変更することができます。ユーザーにコードの変更権限を与えたくない場合、次のセントラルユーザーモードをお使いください。

(3) セントラルユーザーモード

このモードの施開錠の方法はローカルユーザーモードと共通ですが、Uc の変更はマスターに限定されます。

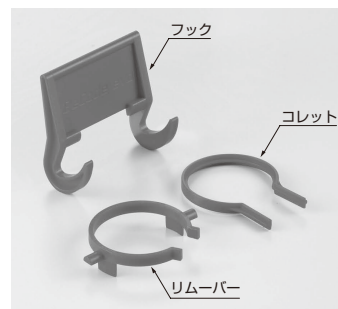
(コードの変更方法については、9. (1) 参照)

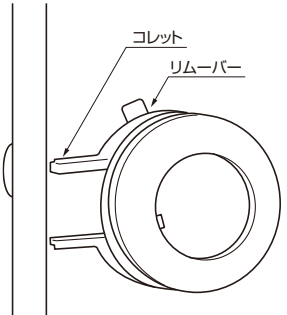
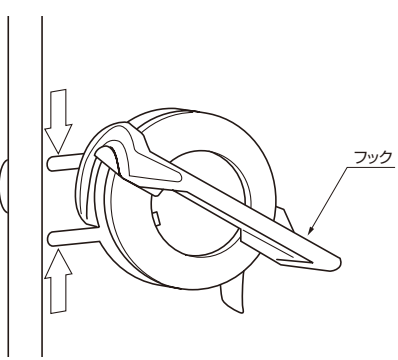
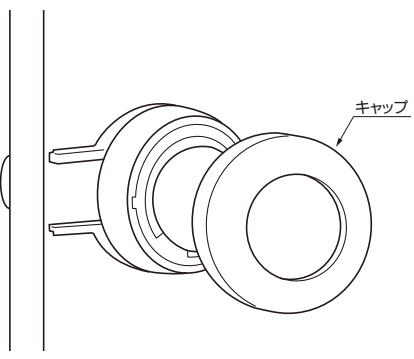
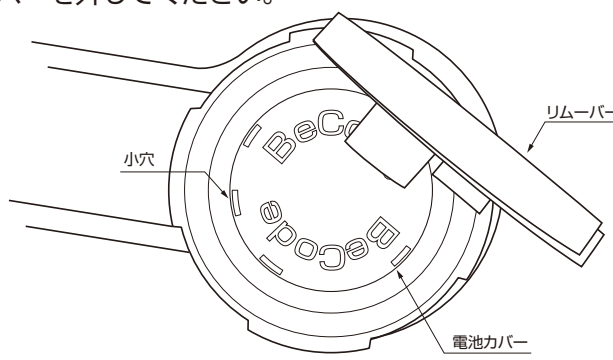
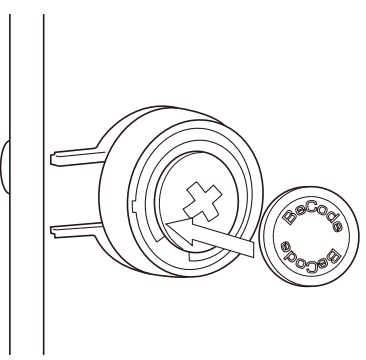
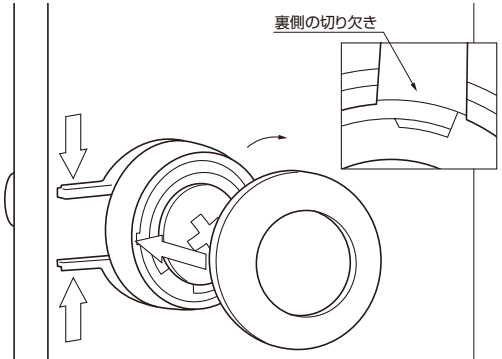
施錠方法 : つまみ部を 2 回押す

解錠方法 : [Uc] ✓ または [Mc] ✓

8. 電池 (CR2450) の交換方法

Mc または Uc を入力した時、黄色く 3 回点滅した場合、電池の交換が必要です。電池 (CR2450) と電池交換工具 (7-1-4001) を準備し、以下の手順で電池を交換してください。



<p>(1) コレットを扉とダイヤル部との間にセットし、リムーバーをダイヤル部にセットしてください。</p>  <p>リムーバーは爪がキャップ裏側の凹みにはまる様にセットしてください。</p>	<p>(2) コレットを締めた状態でフックをリムーバーに引っ掛け反時計回りに止まる位置まで回してください。</p> 
<p>(3) キャップを手前に引き、外してください。</p> 	<p>(4) 電池カバーの小穴の反対側 (透明なプラスチック部品の切れ目) にリムーバーの爪を差し込み、電池カバーを外してください。</p> 
<p>(5) 古い電池を外し、新しい電池を、プラス (+) 側が見える向きにセットし、電池カバーをはめてください。</p> 	<p>(6) コレットを締めた状態で、キャップを裏側の切り欠きがダイヤルの 3 から 4 の位置になる様にかぶせ、時計回りに「カチッ」と音がするまで回してください。</p> 

9. 操作早見表

(1) 各種の変更操作

操作	入力内容	入力例 Mc: 4444 Uc: 1234 新 Mc: 5555 新 Uc: 333 の場合
イーザーローカルユーザーモードへの変更 ※ 1	XX241XX [Mc] ✓	XX241XX 4444 ✓
ローカルユーザーモードへの変更 ※ 1	XX244XX [Mc] ✓	XX244XX 4444 ✓
セントラルユーザーモードへの変更 ※ 1、※ 2	XX264XX [Mc] ✓	XX264XX 4444 ✓
Mc の初回設定 ※ 3、※ 4	XOX [Mc] ✓ [Mc] ✓	XOX 55555 ✓ 55555 ✓
Uc の初回設定 ※ 3、※ 4	X1X [Uc] ✓ [Uc] ✓	X1X 333 ✓ 333 ✓
Mc の変更 ※ 3	XX383XX [現 Mc] ✓ [新 Mc] ✓ [新 Mc] ✓	XX383XX 4444 ✓ 55555 ✓ 55555 ✓
(マスターによる) Uc の変更 ※ 4	XX595XX [現 Mc] ✓ [新 Uc] ✓ [新 Uc] ✓	XX595XX 4444 ✓ 333 ✓ 333 ✓
(ユーザーによる) Uc の変更 ※ 4、※ 5	XX474XX [現 Uc] ✓ [新 Uc] ✓ [新 Uc] ✓	XX474XX 1234 ✓ 333 ✓ 333 ✓

※ 1 モードの変更操作を行う前に、工場出荷時の Mc と Uc を変更しておく必要があります。(5 (1) 項および 6 (1) 項参照)

※ 2 このモードはローカルユーザーモードに類似していますが、ユーザーが Uc を変更することはできません。

※ 3 初回設定時だけこの方法で操作します。2回目以後の操作方法は上表の「Mc の変更」「Uc の変更」を参照してください。

※ 4 イーザーローカルユーザーモードでは、Mc・Uc 共に桁数は 4 桁に限定されます。

※ 5 この操作が可能なのは、イーザーローカルユーザーモード、およびローカルユーザーモードだけです。

(2) 各モードにおける施錠・解錠方法、設定可能な Mc・Uc の桁数

モード	施錠方法	解錠方法	Mc 桁数	Uc 桁数
イーザーローカルユーザーモード	つまみ部を 90° 以上反時計回りに回す ※ 1	[Uc] または [Mc]	4	4
ローカルユーザーモード	押す 押す ※ 2	[Uc] ✓ または [Mc] ✓	4 ~ 10	1 ~ 6
セントラルユーザーモード				

※ 1 解錠操作の 4 秒以後に、この操作が有効になります。

※ 2 つまみを 2 回押す操作は 2 秒以内に行う必要があります。

10. トラブルシューティング

症状	解決方法
モードの変更操作を行ったが、モードが切り替わらない。	モードの変更操作を有効にするには、工場出荷時のMcおよびUcを変更しておく必要があります。5（1）項および6（1）項の操作を行った後、モードの変更操作を行ってください。
つまみを2回押しても施錠されない。（空回り状態にならない。） （ローカルユーザーモードまたはセントラルユーザーモード）	つまみを(約40秒間)黄色く点滅するまで押し続けてください。（本製品がリスタートします。）
コードを入力したとき、赤く3回点滅する。	入力したコードが間違っています。操作をはじめからやり直してください。
何回か入力を試みたが作動せず、赤く点滅し始めた。	入力したコードが間違っています。30秒間待ってはじめてからやり直してください。
コードを入力したとき、黄色く3回点滅する。	電池の残量が僅かな状態です。電池を交換してください。（8項参照）
コードを入力したとき、赤く10回点滅する。	電池が消耗し施錠できない状態です。電池を交換してください。（8項参照）
全く反応しない。	電池を交換してください。（8項参照）

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03(3864)1122**

受付時間 **月～金 9:00～17:30**（年末・年始・夏季休暇等は除く）

FAX 03(3863)6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE **スガツネ工業**
LAMP印の機能&デザイン 金物メーカー

ISO 9001(JSAQ384)・ISO14001(JSAE597) 審査登録
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>